

令和元年5月16日

都内私立中学高等学校

校 長  
理科担当教諭 殿  
関係教職員一般財団法人 東京私立中学高等学校協会  
会 長 近藤 彰郎  
東京私学教育研究所長 須藤 勉  
理数系教科研究会委員長 鈴木 弘  
(共催：公益財団法人東京都私学財団)**理数系教科研究会（理科・地学）「宿泊研修会」のご案内**

## ～ 北海道で大地の構造と変動を学ぶ ～

新緑の候、皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年9月、最大震度7を記録した北海道胆振東部地震が発生し甚大な被害が生じたことは記憶に新しいかと思えます。地学は、このような大地の変動がなぜ発生し、結果として何が起こりうるのかを扱う科目ですが、その学びのためには、地殻やマントルといった地球の内部構造、そしてプレートに関する理解が重要となります。しかし、地下に広がるこれらの構造を実際に観察したり、スケール感を認識したりすることは、当然のことながら困難です。そこで、そのような困難解決に対する一助となるよう、北海道での宿泊研修会を実施することといたしました。

北海道は、地学分野においても他分野においても見所の非常に多い地域で、地殻深部やマントルの構成物質、過去のプレート境界が地表に現れている世界的にも稀有な場所です。また、直近の大きな地震の痕を残す場所でもあることから、2泊3日という限られた日数ではありますが、本研修は大地の構造を観察し、大規模な地球の変動を感じていただくことをテーマとして企画いたしました。

研修前半は、マントルかんらん岩をご専門とする先生にご案内いただきながら、十勝平野から日高山脈を横断してアポイ岳ジオパークを訪れ、地殻やマントルの物質を観察いたします。実際の岩石を授業でもご活用いただけるよう、転石の採集が可能な場所での標本採集も予定しております。ユネスコ世界ジオパークに登録されているアポイ岳ジオパークでは、「大地と自然と人々の物語」というジオパークのテーマに沿って、認定ガイドの方にご案内いただく予定であります。

研修3日目には、厚真町教育委員会の方にご案内いただき、胆振東部地震発生当時のお話を伺いながら、大規模な地滑り痕などを見学いたします。また、厚真町内の地層中に記録された過去の地滑りや津波の痕跡についても観察する予定です。

やや専門的な内容を含みますが、地学担当の先生方はもちろん、地学をご専門としない先生方にとりましても、教育活動にご活用いただける実り多き研修会になるかと存じます。大変お忙しい時期ではありますが、またとない機会ですので、是非ご参加いただけますと幸いです。皆様お誘い合わせの上、奮ってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

## 記

1. 日 時 令和元年8月5日(月)～7日(水) 2泊3日

**集合時間** 8月5日(月) 10:00

**集合場所** 帯広空港 到着ロビー

「私学中・高協会」看板前 集合

※今回の宿泊研修は帯広空港集合・新千歳空港解散です。

※航空券等の手配は各自でお願いします。

※新千歳空港解散後に札幌滞在希望の方は、札幌市内まで送迎します。

### 《 参 考 》

往路 当日出発の場合は下記の2便のみになります。

エアドゥ 61 便 8月5日 羽田空港 06:55 → 帯広空港 08:25

JAL 573 便 8月5日 羽田空港 07:50 → 帯広空港 09:25

復路 新千歳空港から出発する便の一例です。

エアドゥ 32 便 8月7日 新千歳空港 18:00 → 羽田空港 19:35

JAL 522 便 8月7日 新千歳空港 18:00 → 羽田空港 19:40

2. 研修行程概要(予定) ※諸般の事情で変更もありますことをご了承ください

#### 【1日目】8月5日(月)

帯広空港集合 → 丸山展望台 → 忠類ナウマン象記念館 → 音調津花こう岩 → 襟裳岬 → 幌満海岸～日高耶馬溪 → アポイ岳ビジターセンター → アポイ山荘(泊)

#### 【2日目】8月6日(火)

アポイ山荘 → 幌満峡 → 様似町役場 → エンルム岬 → 等澗院(様似海岸エリア見学) → こぶしの湯あつま(泊)

#### 【3日目】8月7日(水)

こぶしの湯あつま → 軽舞遺跡調査整理事務所 → 幌内川周辺地震跡地巡検 → 厚真町内の深層崩壊地点見学 → 厚真町および苫小牧市の地層見学 → 新千歳空港(17:20)解散(→希望者は札幌市内まで送迎します。)

※現地での移動は、基本的に貸切バスとなります。

3. 募集人員 20名(定員になり次第締め切ります)

4. 服装・持参品 フィールドワークに適した服装、靴(トレッキングを含む予定です)  
雨具、リュック、常備薬、帽子、軍手、ビニール袋(サンプル袋)  
保険証、観察道具、ハンマー(あれば) 他適宜

5. 講師紹介
- 【1日目】アポイ岳地質研究所 新井田 清信 先生
  - 【2日目】アポイジオパークからのガイドを予定
  - 【3日目】厚真町教育委員会 学芸員 乾 哲也 先生  
厚真町教育委員会 学芸員 奈良 智法 先生

6. 宿泊先 8月5日(月)

アポイ山荘

〒058-0004 北海道様似郡様似町字平宇 479 番地の7

TEL : 0146-36-5211

<https://www.apoi-sanso.co.jp/> (QRコードはこちら→)



8月6日(火)

こぶしの湯あつま

〒059-1605 北海道勇払郡厚真町字本郷 229 番地の1

TEL : 0145-26-7126

<http://www.kobushi-atsuma.com/> (QRコードはこちら→)



7. 運営委員 安原 健雄 (麻布中学高等学校)

8. 参加費用 32,000円

(参加費には宿泊費、昼食費、保険料、諸雑費などを含みます。その他の経費は当協会会員各校の拠出金と東京都私学財団からの補助金で運営されております)

9. その他 本研修会は当研究所の初任者研修プログラム修了認定に該当する【初任者推奨研修】です。(研修内容が初歩的であったり、参加者を初任者の方に限定するものではありません)

参加申し込みをいただいた方には、実施要項をご自宅へ7月中旬ごろにお送りいたします。

## 参加申込の流れ

【参加申込】裏面参加申込書に必要事項をご記入の上、WebもしくはFAXにてお申込みください。（申込書不足のときは複写してください）

URL : <http://k.tokyoshigaku.com>

東京私学教育研究所

検索 

FAX : 03 (3263) 0560

申込締切日 7月5日（金）

【参加費振込】その後、下記期日までに参加費をお振込ください。なお、振込手数料はご負担願います。領収書は、金融機関発行の振込明細をもちまして代えさせていただきます。7月5日（金）以降の参加取消についてはご遠慮ください。

【お願い】個人の口座からお振込の場合は、振込依頼人名（名義）は、個人名ではなく学校名に変更の上、お振込ください。

振込受付 7月10日（水）まで

振込口座 三菱UFJ銀行（0005）・市ヶ谷支店（014）

普通預金口座 0070204

口座名

一般財団法人 東京私立中学高等学校協会  
東京私学教育研究所

【実施要項送付】参加申し込みをいただいた方には、実施要項をご自宅へ7月中旬ごろにお送りいたします。

※申込者が少なく既定の最低催行人数に満たない場合に、催行を中止する場合があります。その場合は、7月12日（金）以降にご本人へご連絡し、参加費は後日ご指定の口座に返金いたします。

《お問い合わせ先》 一般財団法人東京私立中学高等学校協会 東京私学教育研究所

TEL 03 (3263) 0544

FAX 03 (3263) 0560

理数系教科研究会 担当：板澤・並木・船江・溝口・中島

理数系教科研究会（理科・地学） 「宿泊研修会」

参加申込書

一般財団法人 東京私立中学高等学校協会 東京私学教育研究所 宛

FAX 03 (3263) 0560

担当：板澤

学 校 名			
ふりがな 氏 名		性別	男 ・ 女
		教科	
携帯電話※		喫煙	有 ・ 無 <small>(部屋割の参考にいたします)</small>
自宅住所	〒	初任者の場合は○をお付けください。	
		初任者	
e-mail※		年齢	歳
航空券予約	予約済 ・ これから予約する		

※天候不順等による予定変更時にもご連絡をすることがございます。夏期休暇中に連絡のつく携帯電話番号、メールアドレスをご記入ください。

令和元年 月 日

上記のとおり申し込みます。

校 長 \_\_\_\_\_ 印

本申込書により取得した個人情報は、個人情報保護法に基づき、当研究会事業の実施のために必要な範囲内で利用致します。

※FAX受理、受付完了等の連絡は省略いたします。（本申込書をお送りいただいた時点で受付完了です）  
申込確認が必要な方は、下記にご記入ください。後日、申込書受理書をFAXでお送りします。

・希望する

理由等	FAX番号：
-----	--------